

国語 言語文化	科目 言語文化 (必修) 授業時数 2 単位 履修学年 1・2 学年
--	--

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-----	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 5 時間	3 学期	1 0 時間
漢文学編－漢文入門 ・訓読に親しむ(一)(二)(三)	5	日本文学編－近現代 ・夢十夜(夏目漱石)	8	日本文学編－古文 ・奥の細道(松尾芭蕉)	5
漢文学編－故事成語 ・五十歩百歩 ・矛盾	5	漢文学編－漢詩の鑑賞 ・静夜思 ・春望	4	日本文学編－近現代 ・短歌と俳句	5
		漢文学編－史伝を読む ・鶏口牛後	3		

教材
教科書:「標準 言語文化」第一学習社 漢字教材「漢字 BOX」浜島書店 資料集「新国語総合ガイド」京都書房 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し、表現できるように、電子黒板等を有効に活用しながら指導を行う。また提出物の指導や、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、その知識を活用することができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりし、その知識を活用することができる。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができる。
	習得する (わかる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲（論文・レポートなどの自主的な取組も含む）

単元別 評価規準

訓読に親しむ（一）（二）（三）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	- これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に着けることができる。 - 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解できる。
	習得する (わかる)	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めようとしている。	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。	- これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に着けようとしている。 - 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。

故事成語 五十歩百歩・矛盾

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめることができる。
	習得する (わかる)	- 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。

夢十夜（夏目漱石）

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用することができる。 - 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解し、その知識を活用することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えて、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈することができる 『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表することができる。
	習得する (わかる)	- 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 - 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 - 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈しようとしている 『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表しようとしている。

漢詩の鑑賞 静夜思・春望

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・表現の技法とその効果について理解することができる。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めることができる。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、特色について評価することができる。	・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しを持って漢詩を鑑賞することができる。
	習得する (わかる)	・表現の技法とその効果について理解しようとしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めようとしている。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、特色について評価しようとしている。	・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しを持って漢詩を鑑賞しようとしている。

鶏口牛後

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	・積極的史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈することができる。
	習得する (わかる)	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用しようとしている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。	・積極的史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとしている。

奥の細道

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	- 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 - 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用することができる。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用することができる。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ内容の解釈を深めることができる。	- 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読みこれまでの学習を踏まえて解釈を深めることができる。 - 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えることができる。
	習得する (わかる)	- 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解しようとしている。 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 - 古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深め、その知識を活用しようとしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、その知識を活用しようとしている。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ内容の解釈を深めようとしている。	- 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読みこれまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。 - 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。

俳句と短歌

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、その知識を活用することができる。	「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	- 俳句、短歌のそれぞれの形式や表現を進んで理解し、学習の見通しを持って、俳句・短歌文芸に親しむことができる。 - 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方感じ方を豊かにすることができる。
	習得する (わかる)	我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。	- 俳句、短歌のそれぞれの形式や表現を進んで理解し、学習の見通しを持って、俳句・短歌文芸に親しもうとしている。 - 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方感じ方を豊かにしようとしている。